

一金壹圓五拾錢也
一金壹圓貳拾錢也
右之通り相違無之候也

一寸角印判一個
ゴム印一個

大正九年十二月

新年宴會案内狀

日時 大正十年一月九日午後一時開會

場所 楠社前停留場前カフェエーブラジル

會費 五圓也但し當日持参の事

順序

- 一、開會之辭
- 二、各會新年挨拶
- 三、乾杯
- 四、萬歳三唱
- 五、司會者演説
- 六、各員五分間演説
- 七、餘興
- 八、閉會

謹賀新年

茲に海上労働運動者の活躍をなすべき大正十年の新年を迎えた事を御同様に祝福しませう

然るに過去に於ける労働運動の状態を見まするに當の責任者なる者が種々なる感情問題に因はれ互に意志の疎通を缺き爲に昨年のゼノア會議に出席すべき代表一行選定の折の如き誠に見苦しき失態を演

じました等實に痛切に感ずる次第であります

如斯きは獨り労働者の不利なるのみならず國家の威信にも關する事は萬人の知る所であります
然るに大正九年末に於て幸にも各團體の合同を見るに至り互に從來の總ての私的關係を捨て協力一致し以て一大海員の組合創立に眞に努力せられて居られる事は誠に喜ばしき次第であります就きましては今後一會親睦に互に意志の疎通を計り何事に依らず協同一致の歩調を以て吾人の目的貫徹を期せんが爲め茲に日本海員組合創立實行委員主催となり聯合大新年宴會を開催するのであります併つて御賛成あらん事を乞ふ、追て準備の都合も有之候へば何卒八日夜又は九日早朝迄に賛否御一報下され度候
共同救濟會、機關部員同盟會、國際船舶機關士會、商船同志會、商船互友會、博濟會、自治會、海員協會友愛會等の重なる團體には八日中に御訪問申上候間出來得る限り多くの賛成者を御集め置き下され度候 勿々

主催 龜井司、田口源記、醍醐資祐、堤良明、山下鷹次郎、松元徳三、福森庄太郎、北野勇吉、三和國章、木村松二、宮崎敬馬、溝口傳

日本海員組合創立事務所

實行委員會臨時會計係

組合創立當年第一の新年の劈頭に於て委員一同は海員有志家諸氏と共に、正義ある新年宴會を開催致す